

グレードとオプションの地図・・・100万円の差は、どこから来るのか

同じ車種の中で価格が変わる6つの要素。いちばん大事な列は「あとから付けられるか」です。ここを間違えると取り返しがつきません。

価格差の目安は車種によって大きく異なります。必ず実際の価格表で確認してください。

要素 何が変わるか	中身 具体的に	価格差の目安 同じ車種の中で	あとから 付けられるか いちばん大事な列	数年後に 効くか 手放すとき	判断のこつ どう決めるか
グレード 装備と性能のランク	内装の素材、シートの造り、快適装備、運転支援の内容。安全装備は下位にも付くことが多い	数十万円 ～100万円超	できない	効く	差額を乗る年数で割る。年いくらの価値かで考えると決めやすい
動かし方 ガソリンかHVか（第2講）	同じ車種でもガソリン車とハイブリッド車では車両価格が変わる	数十万円	できない	効く	差額を燃料代の節約で取り戻せる距離を計算する。走らない人はガソリンで十分
駆動方式 2WDか4WDか	4WDは雪道や滑りやすい路面に強い。車重が増え燃費は少し落ちる	十数万円 ～20万円台	できない	地域による	住む場所が決まる。雪国なら4WDは手放すときも有利。降らない地域なら2WDで十分
メーカーオプション 工場で組み込む装備	サンルーフ、本革シート、一部の運転支援装備、大型の画面など	数万円 ～数十万円	できない	効く	迷ったら「これは工場で付けるものですか」と聞く。あとで悔やんでも取り返せない
ディーラーオプション 販売店で取り付ける装備	フロアマット、ドライブレコーダー、後付けナビ、コーティングなど	数万円 ～数十万円	できる	ほぼ効かない	急いで決めなくていい。納車後に自分で選べば、値段も比べられる
ボディカラー 色の追加料金	白と黒は追加なしのことが多い。パール系や特別色は追加料金がかかることがある	数万円	できない	効く	好きな色が第一。ただし白・黒は手放すときに有利になりやすいことは知っておく

 この1枚でいちばん大事なこと

オプションには2種類あり、性質がまったくちがいます。

- メーカーオプション＝工場で組み込む。あとから付けられない。注文時に決めるしかない
- ディーラーオプション＝販売店で取り付ける。納車後でも付けられる。値段も比べられる

見積書ではこの2つが混ざって並んでいることがあります。分けて見る癖をつけてください。

 差額 ÷ 乗る年数

上位グレードとの差が40万円で、10年乗るなら年4万円。それだけの価値を毎日感じられるか。この割り算をするだけで、判断はずいぶん楽になります。

 「安全のために上位を」には確認を

安全装備はいま、ほとんどのグレードに標準で付きます。上位を勧められたら「下のグレードには何が付いていないのか」を具体的に聞いてください。答えが曖昧なら、下でも十分な可能性が高いです。